

SCHOLA CARDINAL VAUGHAN CANTORUM

来日公演が決定

イギリスの名門少年合唱団

The Cardinal Vaughan Schola Cantorum (カーディナル ヴォーン スコラ カントラム) は、イギリスのロンドンにあるヴォーン枢機卿記念学校の典礼合唱団です。1980年に設立され、11歳から18歳までの男子で構成されています。

スコラは、学校の教育に力を入れ、学生たちを優秀な人材へと育成しています。伝統と品格ある合唱団として知られ、同校の音楽部門から生まれました。英国の名曲や伝統的な音楽に触れながら、生徒たちは音楽の美しさを学んでいます。その活躍は、今や英国を代表する合唱団の1つとして称賛されています。

これまでの25年間にわたり、スコラはコヴェント ガーデンのロイヤル オペラハウスなど、素晴らしい場所で数々のコンサートを行ってきました。また、スコラの少年たちは、イングリッシュ ナショナル オペラやオペラ ホランドパークでも歌唱の機会を得ています。

スコラは、数多くの有名な映画のサウンドトラックに参加して好評を得ています。また、コンサートスケジュールに加え、多数のアルバムを録音しており、国内外で高い評価を得ています。

現在の指揮者スコット・ブライス氏の指導の下、スコラは現在も世界中の観客を魅了し続けています。



マラカイは英国の番組で決勝進出

マラカイは、英国のオーディション番組ブリテンズ・ゴット・タレントに輝かしい登場を果たしました。サイモン・コーウェル氏からの「ゴールデン・ブザー」を受け、準決勝への切符を手に入れました。彼の透明で美しい歌声と卓越した音楽的表現力は、審査員たちと視聴者の心を魅了し、見事決勝戦に進出。惜しくも優勝は逃しましたが、会場の観客から大絶賛を浴びました。

また、著名な英国のソリストだったアレッド・ジョーンズ氏とも共演を果たし、そのYouTubeの再生数は数百万回を超えます。

ロイヤル・アルバート・ホールのクラシックFMライブ・オペラ・イブニングにソリストとして出演。5,000人の観衆の前でヘンデルとモーツァルトのアリアを歌い、会場からスタンディングオベーションを受けました。



※ やむを得ない事情で出演者、団体、演奏曲が変更になる場合がございます



今回は厳選された4人が来日

ダニエル・ホワイト
(Daniel White)

アンジェロ・アニナグ
(Angelo Aninag)

マラカイ・バヨー
(Malakai Bayoh)

キアラン・オサリバン
(Kaelan O'Sullivan)

～予定プログラム～

グローリア 作曲：ヴィヴァルディ (Antonio Vivaldi)

わが祈りを聞きたまえ
作曲：メンデルスゾーン (Felix Mendelssohn)

アヴェ・マリア カッチーニ
作曲：カッチーニ (Giulio Caccini)

アヴェ・マリア ヴィヴァンコス
作曲：ヴィヴァンコス (Bernat Vivancos)

ラウダ・シオン
作曲：シャルパンティエ (Antoine Charpentier)

ラウダーテ・ドミヌム
作曲：モーツァルト (Wolfgang Mozart)

ピエ・イエス ウェバー
作曲：ウェバー (Andrew Lloyd Webber)

コール・オヴ・ウィスダム
作曲：ウィル・トッド (Will Todd)

Japan Boys Choir Association
日本少年合唱
公式
ファンクラブ
絶賛会員募集中!

少年合唱団を応援しよう



<https://jbca.bitfan.id/>